



## 環境大臣会合に向けた国際市民フォーラム

### 「バイオ燃料・森林減少防止は気候変動対策となるか？～先進国の役割と責任」



#### フォーラム バイオ燃料は気候変動対策か？

##### 【日時】

2008年5月21日(水) 13:00～18:00

##### 【会場】

JICA 地球ひろば 渋谷区広尾

##### 【主催】

国際環境 NGO FoE Japan、(財)地球・人間環境フォーラム、  
NPO 法人バイオマス産業社会ネットワーク

##### 【後援】

環境省、外務省、経済産業省、農林水産省、  
JICA、駐日英国大使館、駐日欧州委員会代表部

##### 【協力】

AM-NET、ウータン・森と生活を考える会、気候ネットワーク、  
グリーンコンシューマー東京ネット、  
サステナビリティ・コミュニケーション・ネットワーク(NSC)、  
サステナビリティ日本フォーラム、

社会的責任投資フォーラム(SIF-Japan)、WWF Japan、

日本インドネシア NGO ネットワーク(JANNI)、日本環境ジャーナリストの会、

日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会(NACS)、

熱帯林行動ネットワーク(JATAN)、

レインフォレスト・アクション・ネットワーク(RAN)

##### 【助成】

独立行政法人 環境再生保全機構 地球環境基金

社団法人 国土緑化推進機構 緑と水の森林基金

##### 【プログラム】

時間	タイトル	発表者
13:00	開会挨拶 等	挨拶:岡崎 時春
13:05-13:10	イントロダクション	坂本有希
<b>パート1 「バイオ燃料ブームへの警鐘」</b>		
13:15-13:40	バイオ燃料ブームによる パームプランテーション開発の加速	Norman Jiwan 氏 (Sawit Watch)
13:45-14:05	泥炭地からの炭素排出とパームプランテーションの事例	主催より代理報告 (ウェットランド・インターナショナル)
14:10-14:30	土地への需要と制約	中澤 健一 (国際環境 NGO FoE Japan)
14:35-15:00	バイオ燃料生産の LCA と費用対効果	久保田 宏 氏 (東京工業大学名誉教授)
15:00-15:20	質疑(10分)、休憩(10分)	
<b>パート2 「では、どうすればよいか？～G8の責務と役割」</b>		
15:20-15:40	持続可能なバイオ燃料とは？	泊 みゆき (バイオマス産業社会ネットワーク)
15:45-16:05	交通部門・モビリティのありかた	上岡 直見 氏 (環境自治体会議)
16:10-16:20	休憩(質問票回収)	
16:20-17:40	パネルディスカッション	進行:泊みゆき
17:40-17:50	市民社会から G8 環境大臣へメッセージ	発表:満田夏花

## 報告者プロフィール

ノルマン ジワン/Norman Jiwan 氏

サウィット・ウォッチ/Sawit Watch

インドネシア西カリマンタン出身。Friends of the Earth Indonesia の西カリマンタン支部において2年間活動したのち、2004年よりサウィット・ウォッチの調査・開発部門に所属し、パーム油に関する調査・発表を行っている。世界各国の環境や社会問題を扱う会議やイベントに講演者として招かれている。またサウィット・ウォッチを代表して、RSPO（持続可能なパームオイルのための円卓会議）に出席している。その他共著や記事の発表も多数。



国際湿地保全連合/Wetland International

インドネシアにおける泥炭層燃焼から日本の年間総排出量をはるかに超える温暖化ガスが排出されていることを報告するレポートを発表。

<http://www.foejapan.org/forest/sink/peat.pdf>

中澤健一

国際環境 NGO FoE Japan

東京都立大学工学研究科修士課程修了。プラントエンジニアリング会社に勤務をしながらボランティアで FoE Japan に関わる。2001年より FoE Japan 職員。2002年より木材のグリーン購入推進のためのフェアウッド・キャンペーンを立ち上げ、2003年環境省政策提言で日本国内でのフェアウッド調達の推進をテーマに優秀提言を受賞し、行政や企業への調査提言活動を実施。現在、林野庁違法伐採対策協議会委員、エコマーク森林管理判断基準検討委員など務める。



久保田宏 氏

東京工業大学 名誉教授

1928年北海道生まれ。北海道大学工学部卒業。東京工業大学資源化学研究所教授・資源循環施設長を経て、1988年退官。著書に『ルブランの末裔』、『選択のエネルギー』など。



泊みゆき

NPO 法人バイオマス産業社会ネットワーク理事長

日本大学大学院国際関係研究科修了。(株)富士総合研究所研究員を経て、1999年にバイオマス産業社会ネットワークを設立、2004年より現職。静岡大学非常勤講師。農水省バイオマス情報ヘッドクォーター推進検討委員会委員、同バイオマス利活用普及啓発推進事業検討委員会委員他。著書に『草と木のバイオマス』、『バイオマス産業社会』、『アマゾンの畑で採れるメルセデス・ベンツ』他。



上岡直見 氏

環境自治体会議環境政策研究所主任研究員

早稲田大学大学院修士課程修了。技術士(化学部門)。法政大学非常勤講師、交通権学会副会長。著書に『鉄道は地球を救う』、『交通のエコロジー』、『クルマの不経済学』、『持続可能な交通へ - シナリオ・政策・運動』、『交通環境政策講義資料』、『脱・道路の時代』他多数。

